

2018 ため池フォーラム in ひょうご開催

ひょうご ため池新聞

34号

兵庫県 農政環境部
 農林水産局 農村環境室
 ため池水利班
 TEL : 078-341-7711
 (内線 4022)
 FAX : 078-362-9455
 Email : nosonkankyo@pref.hyogo.lg.jp



地域の宝「ため池」を次の世代へ！

県では、「ため池の保全等に関する条例」の理念である、ため池の適正な管理や多面的機能の発揮の促進に向けた取組を県民一人ひとりがそれぞれの立場で実践していくことを「ため池保全県民運動」として展開しています。

この取組を県内外に広く情報発信することにより、ため池管理者をはじめ県民の皆様のため池災害に対する防災意識を高め、地域の貴重な財産であるため池を次世代につないでいくことを目的として、「ため池フォーラム in ひょうご」を平成30年11月29日～30日に開催しました。

29日は神戸新聞松方ホールで本会議を開催し、県内外の各地から合わせて650名が参加しました。

兵庫県立人と自然の博物館の中瀬勲氏からは「兵庫県におけるため池保全の取組」をテーマにした講演があり、「ため池の保全等に関する条例」の制定経緯、県民運動の基本方針(適正な管理「まもる」)、多面的機能の発揮の促進「いかす」、次世代への継承「つなぐ」について説明がされました。

農林水産省農村振興局整備部防災課防災・減災企画官北川陽介氏からは、農林水産省報告として「平成30年7月豪雨を踏まえた今後のため池対策」の発表がありました。



本会議 井戸知事による開催の挨拶



本会議 講演の様子

昨年7月の西日本豪雨の被害状況の説明とともに、今後のため池対策の検討方向についての紹介がされました。

また、県民運動取組実践者による県の先進的な取組についての事例発表もありました。

適正な管理「まもる」として、兵庫県土地改良事業団体連合会ため池保全サポートセンター室から、ため池管理者の適正な管理活動を支援する「ため池保全サポートセンター」の取組内容について発表がありました。

多面的機能の発揮の促進「いかす」では、宮池(淡路市)田主代表から台風などの大雨前にため池の水を放流し水位を下げることに伴うため池の治水機能を活かした防災に対する取組事例について、淡路東浦ため池・里海交流保全協議会からは、農業者と漁業者が協働してため池の「かいぼり」作業をおこなうことで、ため池の状態を確認するだけでなく豊かな海の再生につながっていることについての紹介がされました。

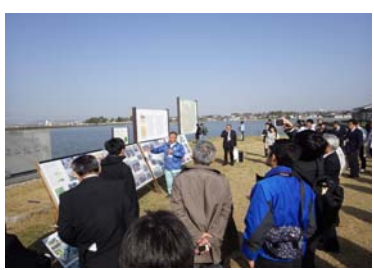
次世代への継承「つなぐ」では、高砂市ため池協議会等から地域主体による生息環境づくりや地域活性化を総合的に進める「ため池コウノトリプロジェクト」の概要や取組事例が説明されました。

30日は播磨コースと淡路コースの2コースに分かれて、現地見学会を実施し、160名が参加しました。播磨コースでは、東播磨地域で推進している、地域が主体となった環境づくりの実践活動をしているため池(阿弥陀新池(高砂市)、加古大池・天満大池(稲美町))を巡り、参加者に対したため池を次世代へつなぐ取組を紹介しました。

また淡路コースでは、平成16年災害で被災し復旧した大財上池(洲本市)や総合治水の取組を実践している宮池(淡路市)の見学を通じて、減災の必要性を説明しました。



阿弥陀新池(高砂市)



天満大池(稲美町)

現地見学会の様子

参加者の皆様には本フォーラムを通じて、ため池を適正に管理していくことについて、また近年のゲリラ豪雨等に備えた防災減災対策の重要性について理解を深めていただけたと思います。

本県では県民の皆様にご安心して暮らしていただけるよう、引き続き対策を進めていきます。



大財上池(洲本市)



宮池(淡路市)

“東条川疏水の日” シンポジウム開催

11月25日(日)、兵庫教育大学子午線ホールにて東条川疏水ネットワーク博物館会議による『東条川疏水の日シンポジウム』が開催され、約100名が参加しました。

東条川疏水は全国でも特に雨の少ない地域を流れており、これまで地域の人々は水を得るために大変な苦労や努力を重ねてきました。その努力が実を結び、平成18年には『全国疏水百選』にも選定され、地域にとって今まで以上にかげがえのないものとなっています。

第4回目となる今回のシンポジウムは『東条川疏水ネットワークのこれまでとこれから～次代を担う子どもたちのために』

をテーマに、兵庫教育大学大学院教授の南埜猛氏、東条湖リゾート総支配人の橋本匡史氏、神戸大学副学長、東条川疏水ネットワーク博物館会議名誉会長の内田一徳氏により東条川疏水のこれからの新しい取り組みや考えについての話がありました。



水路 de ボート探検 in 東条川！！

11月4日(日)に加東市で約100名の小学生を対象に『東条川疏水ボート体験』を開催しました。

『東条湖』で親しまれている鴨川ダムからの水が、お米作りだけでなく加東市や小野市の水道水として使われるなどの学習をした後、4人1組でボートに乗り、疏水下り途中で出題されたさまざまなクイズを答えながら、800メートルのボートの旅を楽しみました。



★イベント情報★

清水新田クリーンキャンペーン

〔日時〕平成31年1月20日(日) 9:00～11:00(小雨決行)

〔開催地〕小池ほか(明石市魚住町清水)

稗沢池クリーンキャンペーン

〔日時〕平成31年1月27日(日) 9:00～12:00(雨天の場合は2月3日)

〔開催地〕稗沢池、二見皿池の一部(明石市二見町)

江井ヶ島皿池クリーンキャンペーン

〔日時〕平成31年1月27日(日) 10:00～11:30(小雨決行)

〔開催地〕江井ヶ島皿池(明石市大久保町江井島)

詳しくは「いなみ野ため池ミュージアム」HP
<http://www.inamino-tameike-museum.com/>



ため池保全県民運動

facebook



兵庫県内のため池や疏水に関するイベント情報や、様々なため池や疏水を紹介しています！

<https://www.facebook.com/hyogo.tameike>

